

みんなの海の楽校 in三河湾2010 報告書

●は・じ・め・に●

●「みんなの海の楽校in三河湾2010」は
日本財団「海のボランティア活動助成」事業です。
(4)海・船に関する国民理解促進 イ海に親しむ活動の推進

●三河湾の海辺を親子などでクリーンアップ・生きもの探しなどをします。
海に親しみながら日常で水を汚さないエコロジカルな生活を実践する、
きっかけにする環境教育プログラムです。

●「三河湾(みかわわん)は、愛知県にある湾。渥美半島と知多半島に挟ま
れいる。東側は渥美湾、西側は知多湾となる。伊勢湾に接続しており、外洋
には直接、接していない。水深は全体的に浅く、閉鎖的水域であるため、最
近は海洋汚染が懸念されている。」

●概要

「南知多町の師崎(もろざき、知多半島南端)、日間賀島の尾張大磯灯標、伊
良湖古山山頂(渥美半島西端)の3点を順に結んだ直線と陸岸とによって囲
まれた海域で、面積は604km²。平均水深は比較的浅く、約9.2mとなっている。
北西から強い風が吹くことが多いのが特徴である。」

●三河港

「1964年、重要港湾に指定。国内でも最大規模の自動車輸出入の拠点となっ
ている。臨海部には自動車関連部品工場が多く立地する。」

●衣浦港

「1957年、重要港湾に指定。発電所や輸送機械工場が集まる。」

●主な流入河川

「境川・矢作川・豊川」

●環境保全

「六条潟や汐川干潟などの生物多様性に富んだ湿地の保護活動が取り組ま
れている。」

●主な島

「篠島・日間賀島・佐久島・竹島・梶島・仏島・三河大島・三河小島・前島・
沖島」

web「ウィキペディア」三河湾より引用

目次

- 表紙
- は・じ・め・に 1
- 目次 2
- 事業の考え方 3
- 広報B3ポスター 4
- 美術館 みる・きく・ふれる、海のうつろひ 5
- 事業概要・プレスリリース 6
- みる・きく・ふれる、海のうつろひ プレスリリース 7
- 第1回 一色町 8
- 第2回 吉良町 9
- 第3回 幡豆町 10
- 第4回 蒲郡市 11
- 第5回 前島 12
- 目的・目標 13
- クリーンアップのルール 14
- スケジュール・注意事項 15
- 講師・アシスタント・スタッフの所感 16
- 海への願い・想い・メッセージ 17
- 記録画像 18-25
- ごみの種類数値 26
- 三河湾について 27
- 中日新聞掲載記事 28
- 岡崎市美術館 29
- blog おしらせ 報告 30-36
- 講師・アシスタント・スタッフの活動画像 37
- blog 38-39
- 継続事業 おかざき川の楽校河童の分校 40
- お・わ・り・に 41
- 参加者アンケート集計 42
- 記録画像 43
- 市町村別指定のごみ袋 44
- 三河湾近隣の市町村別のごみ袋資料 45
- STAFF 55
- 奥付



海に願いを

みんなの海の楽校in三河湾2010

事業の考え方

C O N C E P T

海にゴミがあふれている
きれいな海を残すために
親子でクリーンアップする
昨年岡崎市の乙川を上流・中流・
下流をクリーンアップした
森から川へ そして海にそそがれる
ずっときれいな海で泳ぎたい
だからクリーンアップする

ゴミを捨てるヒト
ゴミを拾うヒト
どちらも同じニンゲン？

ヒトはなぜゴミを捨てるのか？
ゴミのない海を
つくろう！

●B3 広報ポスター

日本財団 助成事業



みんなの海の楽校 in三河湾2010



一色、吉良、幡豆、三河大島の海辺のクリーンアップと、生きもの探しをします。
ビーチコーミングをしながら、「このゴミがどこから来てどこへ行くのか？」親子で考えます。
私たちは「どうしたらきれいな海を残せるか?」、親子で実践する環境教育プログラムです。
クリーンアップ後は、標着物などでアートづくりをします。(美術館などで展示予定)
「COP10」開催の年、親子で三河湾からゴミをなくす活動に参加しませんか?



おやこでつくるゴミのない海辺 未来にのこすキレイな海辺

- 日程: 4月24日(土) 一色町
第1回 5月22日(土) 吉良町
第2回 6月26日(土) 幡豆町
第4回 7月24日(土) 三河大島
- 時間: 10:00~15:00
- 場 所: 三河湾沿いの各地域
- 定 員: 親子各20組10名(4組で20名)
1組のみ参加可ですが、4組同時参加300名を予定します。
先着順、定員に達した時点で締め切ります。

- 参加対象: 小学生と、その保護者
- 参 費: 親子1組1回¥2,000(保険代、軽食代込)
- 持 ち 参 考: 飲み水、タオル、帽子、スニーカー、虫除き剤など
(おまかせのバックパックは900円程度です)
- 集合前夜: 現地
- 申込方法: 親子の両名姓と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで
izokunet@aol.jp まで、【件名】海の家校申込みと、
詳細したプログラムの説明、集合場所の案内を送付します。
●雨天決行: プログラムの内容を変更する場合があります。

【主催】環境NGO「環境NGO三河湾環境協議会」(農林水産省「環境NGO」指定団体)
【協賛】環境NGO「エコエコアライアンス」(環境NGO指定団体) 協賛 環境NGO「自然環境地産地消協議会」(環境NGO指定団体)
【環境NGO】持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク
451-0062 名古屋市中区栄5-1-12 AOCビル
tel:052-700-0098 fax:052-521-0086 ip:052-7770-8624
http://www.izokunet.org e-mail:izokunet@aol.jp
http://ameblo.jp/izokunet/ http://blog.canpan.info/izokunet

*このプログラムは自然環境省のイランテック活動助成(助成)事業です。 *プログラムは天候や参加者の状況により変更、または中止することもあります。



●B3 広報ポスター



日本財団 助成事業
The Nippon Foundation

みる・きく・ふれる、海のうつろひ。

●日程: 2010年12月14日(火)~19日 10:00~17:00 会場: 同海市美術館 [2階展示室]
●入場券: 加算料

みんなの海の楽校
in 三河湾2010

ごみをすてるひと、ごみをひろうひと、あなたどちらですか？
三河湾の海辺をクリーンアップしたごみでアートを作りました。
子どもたちが一斉参加がんばった「みんなの海の楽校in三河湾2010」です。

【環境省委託第2002年等】地球環境化村第16期研修会 〔西村水産産]食料自給率1%アップ推進パートナー
ぬいもエコ塾inアライフ推進協議会 賛成員 ぬいも自然環境団体-推進協議会 会員
【伊地HEO】持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク
tel: 052-700-6092 fax: 052-52-1-0095 g: 052-7770-8524
http://www.looknature. mail@looknet@solp




海に願いを

●事業概要・プレスリリース

みんなの海の楽校in三河湾2010

一色、吉良、幡豆、三河大島の海辺のクリーンアップと、生きもの探しをします。ビーチコーミングをしながら、このゴミがどこから来てどこへ行くのかを親子で考えます。私たちは「どうしたらきれいな海を残していけるか？」を、親子で実践する環境教育プログラムです。クリーンアップ後は、標着物などでアートづくりをします。(美術館で展示予定)「COP10」開催の年、親子で三河湾からゴミをなくす活動に参加しませんか？

- 日 程：第1回 4月24日(土) 一色町干潟
第2回 5月22日(土) 吉良町恵比寿海岸
第3回 6月26日(土) 幡豆海岸
第4回 7月24日(土) 三河大島
第5回 8月 8日(土) 前島
- 時 間：9:00 ~ 15:00
- 場 所：三河湾海岸の各地域
- 定 員：親子各回25組50名(4回で200名)
1回のみ参加もできますが、5回連続参加の方を優先します。
先着順、定員になり次第×切。
- 参加対象：小学生と、その保護者
- 参加費：親子1組1回¥2,000-(保険代、軽食代、展示用パネル代込)
- 持ち物：ぬれてもいい靴、水筒、カップ、食器、箸・スプーン、タオル、着替えなど
(ヘルメット、ライフジャケットはこちらで用意します)
- 集合解散：現地
- 申込方法：親子のお名前と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで
jjizokunet@aol.jp まで。【件名】「海の楽校申込」と。
折り返しプログラムの説明、集合場所の案内を送付します。
- 問合せ先：持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク

* このプログラムは日本財団「海のボランティア活動助成」事業です。
* プログラムは天候や諸般の事情により変更、または中止することもあります。

●事業概要・プレスリリース-02

みる・きく・ふれる、海のうつろひ。

日本財団 助成事業(みんなの海の楽校in三河湾2010)をアートで報告。

春から夏にかけ、一色、吉良、幡豆、三河大島、前島で海辺のクリーンアップと、生きもの探しをしました。

私たちは「どうしたらきれいな海を残していけるか？」を

美術館で皆さんと考えていきます。

参加できなかった方も活動映像を通して、海の今の姿や生きものたちの息づかいを体感できます。

三河湾の海水で描くアートも体感できます。

是非、まちなかで海を体感してください。

●日 程: 2010年12月14日(火)~19日(日)

●時 間: 10:00~18:00

(初日は13:00から・最終日は16:00まで)

●場 所: 岡崎市美術館 第6展示室(岡崎市)

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu1946.html>

●入場参加無料

<映像> みる

* プロジェクターで海での活動や、海のうつろひを投影する。(スライドショー)

* 活動の様子画像をパネル展示する。

<音響> きく

* 海で体感する波の音が会場に流れる。

<展示> ふれる

* 海岸に漂着物や貝殻などを会場にアート展示する。

<ワークショップ>

* 期間中、来場者が海水をつかって作品づくりをします。

最終日にはひとつの大きな作品になります。

テーマコンセプト: みて・きいて・ふれて、海を体感する。

主催: [環境NGO] 持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク

* このプログラムは日本財団「海のボランティア活動助成」事業です。

* プログラムは天候や諸般の事情により変更、または中止することもあります。



●第1回:集合場所 一色町衣崎海岸堤防 9:00 R247松木島西交差点を南(海岸)へ <地域指定のゴミ袋ご持参ください>

みんなの海の楽校 in三河湾2010

三河湾の4箇所の海辺をクリーンアップ、生きもの探し、漂着物でアートづくりをします。親子で考え、学び、楽しみます。(アート作品は美術館などで展示予定) 三河湾からゴミをなくし、今年の夏はキレイな海で思いっきり活動しませう。

- 日 程: 第1回 4月24日(土) 一色町干潟 第2回 5月22日(土) 吉良町恵比寿海岸 第3回 6月26日(土) 幡豆町海岸
第4回 7月24日(土) 三河大島 第5回 8月 8日(日) 前島
- 時 間: 9:00~15:00 ●場 所: 三河湾海岸の各地域 ●定 員: 親子各回25組50名(4回で200名)
*1回のみ参加もできますが、4回連続参加の方を優先します。 先着順、定員になり次第メ切。
- 参加対象: 小学生とその保護者 ●参 加 費: 親子1組1回¥2,000-(保険、昼食、パネル制作費)
- 持 ち 物: ぬれてもいい靴、水筒、カップ、食器、箸・スプーン、タオル、着替、お住まいの市町村指定のゴミ袋 *ヘルメット、ライフジャケットはこちらで用意します。
- 集合解散: 現地(一色町) ●申込方法: 親子のお名前と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで 事務所まで。
- 雨天決行: 諸般の事情でプログラムの内容を変更、または中止する場合があります。
- 問合せ先: [環境NGO]持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク jizokunet@aol.jp Phone: 052・700・6098

www.jizokunet.org



海に願いを



- 第2回:集合場所 吉良町恵比寿海岸 9:00
R247吉良温泉入口交差点を南(海岸)へ 白浜新田を左折 郵便局・竜宮ホテル
前の駐車場「海守」の旗を目印にお越しください。
<お住まいの地域指定ゴミ袋をお忘れなく>

みんなの海の楽校 in三河湾2010

三河湾の4箇所の海辺をクリーンアップ、生きもの探し、漂着物でアートづくりをします。
親子で考え、学び、楽しみます。(アート作品は美術館などで展示予定) 三河湾からゴミ
をなくし、今年の夏はキレイな海で思いっきり活動しましょう。

- 日 程: 第1回 4月24日(土) 一色町干潟 第2回 5月22日(土) 吉良町恵比寿海岸
第3回 6月26日(土) 幡豆町海岸 第4回 7月24日(土) 三河大島
- 時 間: 9:00~15:00 ●場 所: 三河湾海岸の各地域
- 定 員: 親子各回25組50名(4回で200名)
- *1回のみ参加もできますが、4回連続参加の方を優先します。 先着順、定員になり次第×切。
- 参加対象: 小学生と、その保護者
- 参加費: 親子1組1回¥2,000-(おふたりの保険、昼食、パネル1枚の制作費)
- 持ち物: ぬれてもいい靴、水筒、カップ、食器、箸・スプーン、タオル、着替、お住まいの地域指定のゴミ袋 *ヘルメット、ライフジャケットはこちらで用意します。
- 集合解散: 現地(吉良町恵比寿海岸 駐車場)
- 申込方法: 親子のお名前と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで事務所まで。
- 雨天決行: 諸般の事情でプログラムの内容を変更、または中止する場合があります。
- 問合せ先: [環境NGO] 持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク
jizokunet@aol.jp Phone: 052・700・6098
451-0062 名古屋市西区花の木1-12-12 AOビル



www.jizokunet.org



海に願いを

みんなの海の楽校 in三河湾2010

三河湾の4箇所(西幡豆、西幡豆、東幡豆、寺部)の海辺をクリーンアップ、生きもの探し、漂着物でアートづくりをします。親子で考え、学び、楽しみます。(アート作品は美術館などで展示予定) 三河湾からゴミをなくし、今年の夏はキレイな海で思いっきり活動させよう。

- 日 程: 第3回 6月26日(土) 幡豆町海岸
- 時 間: 9:00~15:00 ●場 所: 幡豆町寺部駐車場
- 定 員: 親子各回25組50名(4回で200名)

*1回だけの参加もできますが、4回連続参加の方を優先します。先着順、定員になり次第×切。

- 参加対象: 小学生と、その保護者
- 参加費: 親子1組1回¥2,000-(保険、昼食、パネル制作費)
- 持ち物: むれてもいい靴、水筒、カップ、食器、箸・スプーン、タオル、着替、お住まいの市町村指定のゴミ袋
- *ヘルメット、ライフジャケットはこちらで用意します。
- 集合解散: 現地 ●申込方法: 親子のお名前と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで 事務所まで。
- 雨天決行: 諸般の事情でプログラムの内容を変更、または中止する場合があります。

[環境NGO]持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク
jizokunet@aol.jp Phone: 052・700・6098



- 第3回: 集合場所 幡豆町寺部駐車場 9:00 R247幡豆中北交差点を南(海岸)へ 郵便局・幡豆町役場を通り海岸へ <お住まいの指定ゴミ袋ご持参ください>

www.jizokunet.org



海に願いを

- 第4回: 集合場所 蒲都市 三河大島ゆき乗船場(駐車場) 8:30 <お住まいの地域指定のゴミ袋お忘れなく>

みんなの海の楽校 in三河湾2010

三河湾の5箇所の海辺をクリーンアップ、生きもの探し、漂着物でアートづくりをします。
親子で考え、学び、楽しみます。(アート作品は美術館などで展示予定) 三河湾からゴミをなくし、今年の夏はキレイな海で思いっきり活動させよう。

- 日 程: 第4回 7月24日(土) 三河大島 第5回 8月 8日(日) 前島
- 時 間: 8:30~15:00 ●場 所: 三河湾海岸の各地域 ●定 員: 親子各回25組50名
- 参加対象: 小学生と、その保護者 ●参 加 費: 親子1組1回¥2,000-(保険、昼食、パネル制作費)
- 持 ち 物: 水着、ぬれてもいい靴、水筒、カップ、食器、箸・スプーン、タオル、着替、お住まいの市町村指定のゴミ袋。
*ヘルメット、ライフジャケットはこちらで用意します。
- 集合解散: 現地(蒲都市)
- 申込方法: 親子のお名前と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで 事務所まで。
- 雨天決行: 諸般の事情でプログラムの内容を変更、または中止する場合があります。



- 問合せ先:
[環境NGO]持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク
jizokunet@aol.jp Phone:052・700・6098

www.jizokunet.org



海に願いを

みんなの海の楽校 in三河湾2010

三河湾の5箇所の海辺をクリーンアップ、生きもの探し、漂着物でアートづくりをします。親子で考え、学び、愉しみます。(アート作品は美術館などで展示予定) 三河湾からゴミをなくし、今年の夏はキレイな海で思いっきり活動させよう。

- 日 程: 第5回 2010年8月8日(日)
- 時 間: 9:00~13:00
- 場 所: 三河湾海岸 前島(幡豆町)
- 定 員: 親子各回20組40名
- 参加対象: 小学生と、その保護者 ● 参加費:
親子1組1回¥2,000-(保険、軽食、パネル制作費)
* 子どもだけで参加してパネル不要の場合参加費
¥500-(保険、軽食)
- 持 ち 物: 動きやすく安全な服装、ぬれてもいい靴(ビーチサンダル不可)、水筒、皿15cm程度、スプーン、タオル、お住まいの市町村指定のゴミ袋。
* ヘルメット、ライフジャケットはこちらで用意します。
- 集合解散: 幡豆港(幡豆町)
- 申込方法: 親子のお名前と年齢、住所、連絡先を明記の上、メールかハガキで事務所まで。
- 雨天決行: 諸般の事情でプログラムの内容を変更、または中止する場合があります。

* 集合場所: R247から東幡豆上畑、または東幡豆小西信号を海(南)へ。津島神社・小見行組合公民館前の愛知県駐車場。* 名鉄東幡豆駅下車徒歩7分。

● 問合せ先: 154-0062
名古屋市区花の木1-12-12AOビル
持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク
jizokunet@aol.jp Phone: 052-700-6098



www.jizokunet.org

**無人島を
クリーンアップして、
カレーライスを食べようぜ!**



海に願いを

みんなの海の楽校 in三河湾2010

●目 的

親子で海をみる、感じる、体験する。
そして学ぶ。愛知県の三河湾を4回連続で海の恵みをまるごと体感する。
三河湾の海岸線から「ごみ」を無くす。

●目 標

親子で一緒に同じものをみる、感じる、体験する。
海岸線をクリーンアップする。
「ごみ」をつかってアートをつくる。親子のきずなを深める。
水族館などで作品を展示する。
毎回の親子が次の親子にメッセージを渡す。

●事業内容

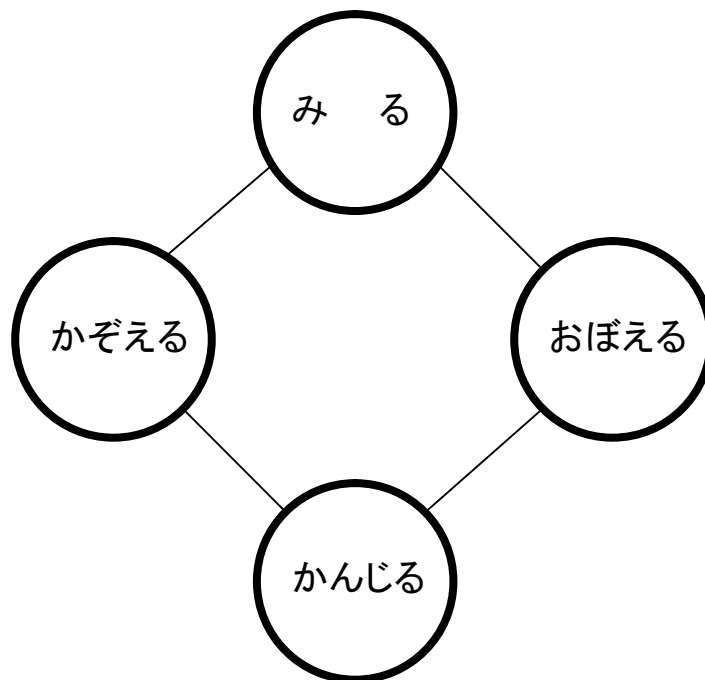
- 1.親子で海岸線をクリーンアップして、水生生物を楽しく学ぶ。
 - 2.参加者親子はそれぞれの地域のごみ袋を持参しクリーンアップをして持ち帰る。
 - 3.家族で地域による「ごみ」の分別の違いや海の情報共有する。
 - 4.毎回、水中生物などの観察会を実施する。
 - 5.毎回参加者親子で記念になるモノを「ごみ」でアートする。
 - 6.毎回、参加者親子が次回参加親子にメッセージを贈る。
 - 7.メッセージやアートは「碧南水族館」「名古屋都市センター」などで展示する。
- * 日程などの事情により岡崎市美術館で展示・ワークショップを(20101214-19 20110308-13)開催した。

●成果物

B3ポスター A4チラシ5種類 画像 報告書
アート画像 アンケート集計 メッセージ集計
みんなで作る三河湾map(B1 2枚)画像

持続ネットのクリーンアップルール

み　　る	【視覚】 フィールドをよくみる。もともと、そこに無かったものはごみとする。
かぞえる	【数値】 できるだけ、ごみをカウントする。
おぼえる	【記憶】 どんな種類のごみがあったか、おぼえる
かんじる	【感性】 そのごみはどこから来たのか？ どんな人が捨てたのか？ をかんじる。



●持続ネットのクリーンアップのコンセプトは…
 ごみを感じるコトです。
 フィールドにある「ごみ」をたくさんピックアップすることは考えていません。収量を目指していません。どんなごみがあったのか？
 どのくらいあったのか？そして、そのごみはどこからきたのか？
 どんなヒトが捨てたのか？ そのコトを推理と推測をして、「ごみ」から何かを感じていただきます。「ごみ」の「シャーロックホームズ」「名探偵コナン」を目指していただきます。

「みんなの海の楽校in三河湾2010」 スケジュールと注意事項

●【時間:9:00-15:00】

- * 本日のスケジュール説明
- * 自己紹介(お名前・市町村エリア程度)
- * 注意事項・講師・アシスタント・スタッフ紹介
- * 準備体操・ストレッチ
- 9:00-11:30 フィールド クリーンアップ
- 11:30-12:30 ピクニックランチ(昼食)
- 12:30-14:30 フィールド 生き物探し
- 14:30-15:00 ふりかえり・感想・反省など

* 天候や事情により変更する場合があります。

●【注意事項】

- * 講師・アシスタント・スタッフの指示に従ってください。
- * 危険なことは避けてください。
- * 単独行動はやめてください。
- * 不審者・不審なモノをみかけたらイチバン近い人に連絡してください。
- * 活動中は子どもはヘルメット・ライフジャケットを必ず着用してください。
- * 大人はライフジャケットを着用してください。
- * 生き物は持ち帰らない様にしてください。
- * クリーンアップに関するルールは別紙を参考にしてください。



海に願いを

講師・アシスタント・スタッフの所感

comment

専門家講師

(昨年の「おかざき川の樂校河童の分校」でもお願いした環境教育の専門家)

●昨年は子どもだけでの募集でしたが、今回は親子での参加ということで、親子での学びにどう関わっていくか、に気を遣いました。子どもが見つけたゴミや生きものを親と一緒に観察し、生きものの名前や習性、ゴミが自然に与える影響などをヒントを出しながら、一緒に考えることができ有意義でした。

アシスタント

(「おかざき川の樂校河童の分校」で初めて環境教育スタッフを経験し、1年間他のプログラムアシスタントを経験してきた人。または、大学で教育学を専攻したり、環境教育に関心のある人など。)

●私は昨年の河童の分校で、初めて環境教育のアシスタントをしました。大人が置いていった弁当の空き容器や、ビールの空缶を子どもたちが見つけ「どうして大人たちはゴミを持ち帰らないのかな？」と言った言葉にとっても恥ずかしかったです。

●子どもたちと一緒にゴミを拾いながら、今の気持ちを忘れず(きれいな海を残したい)にゴミを捨てない大人に育ててほしいと思いました。

●私は今回が初めての環境教育アシスタント体験でした。浜辺に打ち上げられた人工物の多さに、子どもたち同様とても驚きました。プラスチックの容器が劣化していて、ちぎれた部分を海洋生物が誤飲するかもしれない、ということも、参加者と話しながらクリーンアップしました。

●今まであまり海に行く機会が無かったので、現在の海や海岸の様子を知ることができ参加して良かったです。これからも、プログラムに参加しながら自然をきれいにしたり、ゴミを出さない生活を考えていきたいです。

●海の生きものが好きなので参加しました。小さいころ来ていた海と同じ巻貝やカニを見つけ嬉しかったです。しかし、そのすぐ隣にはガラスの破片や釣り糸が捨てられていて、ゴミの多さに驚きました。参加者の子どもや保護者と一緒にゴミ拾いを頑張りました。

●生きものが安心して暮らせる海は、我々人間にとっても大切な場所です。時々、海にゴミを拾いに来ようと思っています。

スタッフ

(持続ネットの役員・会員など)

●なぜ、こんなに海にごみがあるのだろうか？捨てる人がいるからか？私たちは一生ごみを拾うのだろうか？ そんな疑問を持った。

●「親子で一緒に活動できる時間ない。」と言われた時は唖然とした。海の素晴らしさ子どもに伝えるのは親の務めではないだろうか。

*「Twitter」のように、さえずり・つぶやきの140文字程度で今回の事業の所感です。(順不同)

海への願い・想い メッセージ

「みんなの海の楽校」報告・アート展示した「みる・きく・ふれる、海のうつろひ。」
(岡崎市美術館)フィールドのプログラムに参加できなかった親子・市民が海への
願い・想いを表現(文字・絵画など)の抜粋です。

「みんなで作る三河湾map」

- 「そ、空に平和を海に平和を人に平和を」
- 「子どもたちにきれいな海を・・・」
- 「半田港 日本丸ごきげんよう」
- 「いわし あじ このしろ だいすき」
- 「ごみをすてる人、ごみをひろう人、どちらも同じ人間？」
- 「多くの魚がすめる海がほしいな」
- 「すなめり ずき」
- 「うみだいすき！」
- 「プレレクケトファようせいは ずっと海の中にいた」
- 「ウミガメ大好き」
- 「ごみをすてると水がよごれる。ごみをひろうと水がきれいになるよ。」
- 「うみはやっぱきれいがすき」
- 「海はひろいよ ずっときれいでなきゃね」
- 「いきものをたべて人はいきる」



●記録画像



みんなの海の楽校
in三河湾2010

一色、豊田、樽原、三河大島の周辺のクリーンアップと、生きもの探しをします。
ビーチコーミングしながら、「このゴミがどこから来たのか?」「魚が何を食べているのか?」を探してみます。
みんな「どうしてゴミが海に落ちたのか?」、親子で考える勉強会プログラムです。
クリーンアップ後は、観察物などでアートづくりをします。(美術館などで展示予定)
COOP101 読者の年、親子で三河湾からゴミをなくす運動に参加しませんか?
若やこでつくるゴミのない海 未来にのこすキレイな海

主催: 三河湾クリーンアップ実行委員会
協賛: 三河湾クリーンアップ実行委員会
協力: 三河湾クリーンアップ実行委員会



●記録画像

